

**立ち止まらない2人の幸せを、**

**スタッフ一同心よりお祝い申し上げますで賞 岡田 隆幸 さん**

あれは土曜日の朝だった。いつものように玄関でシューズの紐をしぼっていると、同棲している彼女がまだ眠そうな声でぼくの背中に向かってこう聞いた。

「なんでそんなに走るの？」

ぼくは、う〜ん、と少し考えてから玄関のドアに手をかけ、「わかららん」と言っておいた。即答もできないし、考えているよりも早く走りに行きたかった。

走りながら、なんで毎日のように走るのかしばらく考えてみた。走っていると、前に進んでいるような気がした。何か悩んでいる時、つらい事があった時、走り出すと立ち止まらずに済む。

たまには男のカッコいいセリフでも言ってやろうと自信に満ちて家に帰り、まだ汗だくの体のまま、洗濯物を干している彼女に言った。

「人生をね、前に進ませるためだよ。」

彼女は、「なにそれ？」と相変わらずなぼくにぼやいた後、こう言った。

「じゃあ、そろそろ私たち、結婚しないとね」

どうやらマラソンは、人生を立ち止まらせてはくれないらしい。

